

10月の行事予定

<10月の生活目標>

自分の仕事に責任をもとう！



1	水	水6日課 職員会議 学習発表会特別日課開始	17	金	
2	木	CIR⑤⑥ スワディ号 2年生校外学習	18	土	幕別町教育の日 学習発表会
3	金	児童会総会 3年生校外学習	19	日	
4	土	忠類中学校文化祭	20	月	振替休業
5	日		21	火	
6	月	CIR④⑤⑥③	22	水	水6日課 研修日⑩
7	火		23	木	CIR⑥⑤ 秋の身体測定 中学生職場体験受入れ
8	水	水6日課	24	金	たてわり読書
9	木	CIR⑥⑤	25	土	
10	金	児童会②	26	日	
11	土		27	月	CIR⑤⑥③④
12	日		28	火	6年生中学校1日登校
13	月	スポーツの日	29	水	水6日課 研修日⑪
14	火		30	木	CIR⑤⑥
15	水	通常日課5時間授業 学習発表会総練習	31	金	クラブ⑥⑦
16	木	CIR③④ スワディ号 就学時健診			

※4月～10月の帰宅時刻は午後5時です。

キラリ☆忠類っ子 ～課外活動のがんばり～



第12回葵塾ルーキーズトーナメント

【空手】チーム葵奏

初心の部：準優勝

3年生男子：優勝

型上級チャレンジ：優勝

さん

さん

さん

第26回十勝管内町村少年野球秋季大会
優勝 さん

おめでとうございます！これからも頑張ってください！

後期児童会役員決定！

9月19日（金）に後期児童会の役員選挙が行われました。はじめに立候補者による立会演説を行い、子どもたちは演説の内容をしっかりと聞いて投票をおこないました。

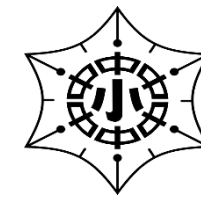
後期児童会三役

会長
副会長
書記

さん
さん
さん



ちゅうるい学園 幕別町立忠類小学校 学校便り



しらかば



since 1908

令和7年9月26日発行



【シーニックカフェ学習】



～地域と歩んで117年～



体験活動が子どもの感性、知性、悟性を育む



【後期児童会役員選挙】



【かとうまふみさん読み聞かせ】



【マラソン記録会】



【2・3年生 ハルニレプロジェクト】

新しい季節を迎え、子どもたちの元気な声が学校中に響いています。9月の忠類っ子たちは「シーニックカフェ学習」「木育マイスター 福家菜緒さんを招いてのハルニレプロジェクト」「絵本作家 かとうまふみさんによる読み聞かせ＆ワークショップ」「JA ちゅうるい青年部の皆さんとのカボチャの収穫」「ガーナからの留学生ティジャニさんとの国際交流」など、秋の自然を思いっきり体験したり、多くの専門家と出会ったりする学びを行いました。

人間は、外の世界からの刺激を直感的に感じ取る【感性】、直覚によって物事を認識し、判断し、思考して、新たな認識を生み出す【知性】、物事を論理的、知的に思考する【悟性】を統合的に働かせることができます。それが人間の強みであり、【感性】【知性】【悟性】が発現し、機能し、磨かれる教育の充実が期待されています。子どもたちが直面する現実それぞれ固有で多様ですが、私は、具体的な事象との関わり合いを通して生まれる「知・情・意」こそが、人間の生きる力になると考えています。そして、そのためには幼児期から学童期までの連続した体験活動が必要であると思っています。

忠類小学校の子どもたちは多様な体験活動を行える環境にあり、体験で得られた諸感覚の感受を既得の知識で支え、論理とし、それを表現することで、実感を伴った学びとすることができているように思います。今年も忠類っ子たちは、秋の様々な体験活動を行うなかで、たくさんの【感性】【知性】【悟性】を磨くことができたのではないのでしょうか。

こうした体験活動を行い、子どもたちが心豊かに成長することができているのは、たくさんの学校応援団の皆様のお陰であり、本当に心から感謝しているところです。今後も皆様からご支援やご協力を賜りながら、「こども・おとなの笑顔がいっぱい 感動と夢のあるしあわせ小学校」を創ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

（校長 島田 諭）

Vol.565
令和7年
9月号

<https://www.town.makubetsu.lg.jp/kyouiku/gakko/>

忠類 Elementary School



9/4 シーニックカフェ学習 ～地域の魅力を伝える体験学習～

加藤建設様のご協力を得て、普段は休日しか営業していないカフェを特別に開いていただき、全校で体験学習を行いました。この活動を通して、子どもたちはシーニックや忠類の魅力をどのように伝えていくのかを一人ひとりが考え、実際に発信していく学習に取り組みます。地域にある自然や文化の価値を見つめ直すことで、自分たちの住む忠類への誇りや愛着が育って欲しいと願っています。特に今年は、国立公園に指定された日高山脈がシーニックからもよく望めることから、その雄大で美しい景観にも着目していきます。地域の魅力を体験し、そこから学んだことを広く伝える取り組みは、子どもたちにとって大きな成長の機会となるはずです。



【昨年命名したブランコでポーズ】



【日高山脈をバックに集合写真】



【絶好のシーニック日和でした】

9/12 かとうまふみさん 読み聞かせワークショップ

～地域の魅力を伝える体験学習～

前回の学校だよりでもお伝えしていましたが、先日、絵本作家のかとうまふみさんをお招きし、代表作の『ぎょうざのひ』や最新作『ねこきちのてぬぐい』の読み聞かせをしていただきました。さらに、子どもたちが交代で絵を描き、一つの作品を完成させていくワークショップも行われました。当日は、保育所の子どもたちも参観に訪れ、読み聞かせを楽しんだり、小学生と一緒に絵描きをしたりして楽しみました。

まふみさんは、その後、4・5年生と一緒に給食を食べながら交流し、昔、忠類を訪れていた時のことを振り返りながら温かいふれあいの時間を持つことができました。



【小学校の図書室には、昔からかとうまふみさんコーナーがあります】

9/11 ハルニレプロジェクト ～木とふれあい、親子でつなぐ未来～

2・3年生の PTA 親子学習では、「木育」に取り組みました。木育マイスターの福家さんをはじめ、大坂林業様や十勝総合振興局の皆様にご協力をいただきました。子どもたちと保護者の皆さんは説明を受けながら、学校の敷地内にある大きなハルニレの木に取り付けるための木製ブランコを協力して作成しました。木の感触に触れる体験は、普段の授業では味わえない特別な学びとなりました。

完成したブランコは、その場でハルニレの木に設置され、子どもたちは早速楽しそうに乗っていました。今では、休み時間の人気の遊び場となり、子どもたちの笑顔を生み出す新しい学校の宝物になっています。

是非、ご来校された際には、ご覧になっていたきたいと思います。

大坂林業様で、毎年、安全点検メンテナンスをしていただきます。



【座る部分も昨年の学校で切ったクルミの木を使って作っています】



9/17 かぼちゃプロジェクト収穫 ～育てるよろこび、つながる学び～

かぼちゃプロジェクトで育ててきたかぼちゃの収穫を行いました。今年は、JA忠類青年部の皆様にご協力いただき、育成指導などもしていただきました。収穫当日には、青年部の皆様のほか、ナウマン記念館館長の添田さんにもお越しいただきました。収穫できたかぼちゃはおよそ 50 個で、10 月には札幌の円山動物園へ送り、ゾウたちに食べてもらう予定です。その様子は、動物園とオンラインでつなぎ、全校で学習を行うことになっています。



【青年部のみなさま、ありがとうございました！】

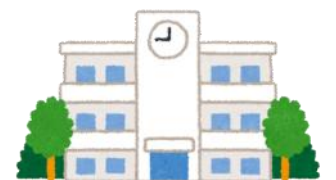
9/24 マラソン記録会 ～記録に挑み、心を育む～

秋晴れの空の下、全校でマラソン記録会を行いました。子どもたちは日々の体育の授業や休み時間の練習の成果をしっかりと発揮し、自己ベストの更新を目指して一生懸命に走り抜きました。コース途中で安全の見守りにご協力いただいた保護者の皆様、そして沿道から温かい声援を送ってくださった保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。地域や家庭の応援を受けながら走り切った経験は、子どもたちにとって大きな自信につながったことと思います。



学校評価の概要について

本年度の学校評価では、児童・保護者・教職員のいずれからも、「いじめをしない・させない」「思いやりや人間関係づくり」に高い評価が寄せられました。運動や身体活動の習慣についても成果が見られ、学校と家庭が協力して子どもの成長を支えていることが分かります。一方で、学習への主体的な取り組みや、学んだことを生活に生かす力、規則正しい生活習慣については課題が残っています。今後は授業改善や家庭との連携を通じて、学習意欲や生活習慣の定着をさらに高めていく必要があります。全体として、心の成長や人間関係の定着は成果が見られる一方で、学習の深まりや生活習慣の向上が今後の課題です。学校・家庭・地域が協力して、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。詳しくは、別紙添付した結果をご覧ください。



令和7年度 1回目 ちゅうるい学園 忠類小学校評価			集計結果		
No.		評 価 項 目	児童 平均	保護者 平均	教職員 平均
1	児	授業では自分で深く考え、意欲的に取り組んでいる。	3.2	2.8	3.1
	保	お子さんは、学習に対して意欲的に取り組んでいる。			
	教	学校は、子どもの考えを引き出し、ICT を活用したわかりやすい授業を行っている。			
2	児	学んだことを日常の生活に生かすことができる。	3.1	3.1	3.4
	保	お子さんは、学んだことを日常の生活に生かすことができている。			
	教	学校は、既習事項を生かし、工夫しながら生活できるように指導している。			
3	児	「いじめをしない、させない」ように気をつけ、優しい気持ちで仲間と過ごしている。	3.8	3.7	3.6
	保	「いじめをしない、させない」ように、家庭でお子さんとお話し、思いやる心を育てている。			
	教	学校は、「いじめを生まない」ように、思いやりや優しさなど、心を育む指導を行っている。			
4	児	礼儀正しく、自ら進んであいさつや返事ができる。	3.4	3.1	3.5
	保	お子さんは、礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。			
	教	学校は、自ら進んであいさつや返事など、礼儀正しく感謝の気持ちが持てるように指導している。			
5	児	起きる時間・寝る時間・学習時間など、毎日規則正しい生活ができている。	3.1	3.2	3.4
	保	お子さんは、毎日規則正しい生活ができている。			
	教	学校は、規則正しい生活習慣を身につけられるように指導している。			
6	児	学校や家で、自分で進んで体を動かしたり、運動したりしている。	3.6	3.2	3.5
	保	お子さんは、学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。			
	教	学校は、進んで体を動かす運動瞬間を身につけさせるように指導している。			
7	児	将来の夢や目標に向かって努力している。	3.3	2.7	3.4
	保	お子さんが将来の夢や目標に向かって努力し、地域社会に貢献できるように家庭で対話している。			
	教	学校は生徒に寄り添い、将来の夢や目標が実現し、地域社会に貢献できる生徒を育てている。			
8	児	自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。	3.8	3.7	3.5
	保	お子さんは、自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。			
	教	学校は、自己肯定感や自己有用感を育み、ふるさとを愛する生徒を育てている。			
～考察～					
児童の結果から					
・「いじめをしない、させないように気をつけている」「自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている」といった人間関係や情緒面に関する項目の評価が非常に高い結果となりました。人間関係づくりや道徳的な意識がしっかりと根付いていると考えられます。また、「自分で進んで体を動かしたり、運動をしたりしている」も高い結果で、体育の授業や休み時間の活動、チャレンジタイムなどで、身体活動の習慣が定着していることが分かります。					
・一方で、「授業で深く考え、意欲的に取り組んでいる」「学んだことを日常の生活に生かすことができる」といった学習に関する項目の評価は、他の項目に比べて低めの結果となりました。これは、学習内容の理解や習得は一定程度できているものの、自らの学びをより深めたり、生活の中に応用して活用したりする力が十分に定着していないことが考えられます。学習の目的や意味づけ、活用力を意識した取組が必要と考えられます。					
・「起きる時間・寝る時間・学習時間など、規則正しい生活ができている」という項目も低い結果となっていて、子ども自身に生活習慣の意識付けを進めていく必要があります。					
保護者の結果から					
・「家庭でいじめをしない・させないように対話し、思いやりの心を育てている」「子どもが自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている」といった項目の評価が高く、学校だけでなく家庭においても、子どもの人間関係や情緒的な成長を大切にし、保護者の方々が積極的に関わっていることが分かります。					
・学習面や将来に関する項目は相対的に低い結果となっており、「お子さんは学習に対して意欲的に取り組んでいる」、「お子さんが将来の夢や目標に向かって努力し、地域社会に貢献できるように家庭で対話している」とどちらも最も低い評価でした。これは、子どもの学習に向かう姿勢や将来に対する意識について、保護者の方々が十分に満足していない実態を示していると考えられます。授業そのものの充実や家庭学習の支援、キャリア教育の工夫を通して、学習意欲を高める働きかけが必要だと考えられます。					
・「礼儀正しく、自ら進んであいさつや返事ができる」、「毎日規則正しい生活ができている」といった生活習慣や生活態度に関する項目については、児童や教員の評価と比較するとやや低めの結果でした。これは、保護者の方々は、家庭で子どもの生活態度を間近で見ているため、現実的な課題をより強く認識していることの表れだと考えられます。学校での指導や声かけは一定の効果はあるものの、家庭生活全般を通じた生活習慣の確立については、さらなる支援や啓発が必要であると考えられます。					
・今後は、保護者の方からの目線で見ても「学ぶことの意味」や「将来につながる学習の大切さ」を実感できるような教育活動を進めると共に、学校と家庭が協力して子どもの生活習慣を支えていく必要があります。					
教職員の結果から					
・評価が高かったのは、「学校は『いじめを生まない』ように、思いやりや優しさなど心を育む指導を行っている」、「学校は礼儀正しく感謝の気持ちが持てるように指導している」、「学校は進んで体を動かす運動習慣を身につけさせるように指導している」の項目で、学校が子どもの人間関係づくりや基本的生活習慣、心身の健康の保持増進について、日常的教育活動を通してしっかりと定着していることが分かります。特に「いじめ防止や思いやりの育成」に関しては、児童・保護者アンケートでも高い評価が得られており、三者の認識が一致している点は学校の大きな強みであると考えられます。					
・他と比較して評価が低かったのは「学校は子どもの考えを引き出し、ICT を活用した分かりやすい授業を行っている」です。ICT 機器の整備や活用は進んできているものの、学習用具として日常的に活用を進めるために、さらに研究を重ねていくことが求められます。今後は ICT を子どもの主体的・対話的で深い学びを促すための効果的な活用を実践していく必要があります。					
・「既習事項を生かし、工夫して生活できるように指導している」、「将来の夢や目標が実現し、地域社会に貢献できる生徒を育てている」、「自己肯定感や自己有用感を育む指導を行っている」の項目については概ね良好な結果でした。これは、学校教育が単なる学力向上にとどまらず、「かぼちゃプロジェクト」や「シーニックカフェ学習」などふるさとと教育を通して、子どものキャリア形成や自己肯定感の育成、地域社会とのつながりを重視して取り組んでいる姿勢が反映されていると考えられます。					

9/3 校内実技研修 ～子どもたちの『できた！』を引き出すために～

ちゅうるい学園では、小中が連携しながら教育活動を進めています。その一環として、このたび小学校において校内実技研修を行いました。研修では、忠類中学校の堀井先生をお招きし、「マット運動」や「跳び箱運動」の指導方法についてご指導いただきました。

授業の導入で使える基礎的な運動や、子どもたちが安心して取り組める補助の仕方、苦手意識をもつ児童への声かけの工夫など、具体的で実践的な方法を学ぶことができました。先生方からは「明日からの授業で早速活用できる」「安全に楽しく運動できる工夫が参考になった」といった感想も聞かれ、非常に充実した研修となりました。



9/16 忠類・駒畠保育所合同給食会 ～交流から広がる絆～

忠類保育所・駒畠保育所の年長さんと、小学校 1 年生が合同で給食会を行いました。初めに、みんなで元気よく自己紹介をしたあとは、ペアになって一緒に給食の準備に取り組みました。小学校では一番年下の 1 年生ですが、この日ばかりはお兄さん・お姉さんの顔。保育所の子どもたちにやさしく言葉を掛けながら、準備や食べ方をリードする姿が見られました。

今年度は、保育所と小学校が連携した活動をいくつも実施しています。こうした交流を通して、子どもたちが安心して小学校生活をスタートできるよう、また異年齢の関わりを深められるよう取り組んでいきます。



9/16 国際交流学習 ～世界を知り、広がる子どもたちの視野～

合同給食会と同じ日、6年生では国際交流の学習を行いました。今回は、ガーナから日本に留学しているティジャニさんをお招きし、自国ガーナの文化や生活の特徴、そして日本との違いについてお話いただきました。衣食住や学校生活のようすなど、子どもたちにとって新鮮な内容ばかりで、6年生は興味津々に耳を傾けていました。

異なる文化や価値観に触れることは、子どもたちの視野を広げる大切な機会です。今回の学びを通して、自分たちの暮らす日本を改めて見つめ直すとともに、多様性を尊重する心を育ててほしいと思います。



9/19 避難訓練(火災) ～学びを行動に、防火への第一歩～

今回の避難訓練は、事前に子どもたちへ知らせず、火災を想定した「抜き打ち」で行いました。突然の訓練でしたが、子どもたちは「おさない・かけない・しゃべらない・もたない・もどらない」の約束を守り、慌てることなく落ち着いて避難することができました。真剣な表情で避難する姿から、日頃の学びがしっかりと身についていることが感じられました。

また、この日は消防署の方々にもご協力をいただきました。避難後には、1～3年生を対象に防火講習を実施していただき、火事の怖さや火を扱う際の注意点などをわかりやすく教えていただきました。

今後も「自分の命は自分で守る」意識を大切にしながら、安全への取り組みを続けていきます。

